

理解！ 習得！ 自校に 展開！

生徒の学びをデザインする カリキュラム・マネジメント

監修・ファシリテーター

ともこ
森 朋子

関西大学教育推進部教授

専門は、学習研究、学習理論。島根大学教育開発センター長等を経て、現職。共編書に『アクティブラーニング型授業としての反転授業』（ナカニシヤ出版）。

日賀優一

「三四郎の学校」事務局長

本誌連載コーナー「これからの会議・研修のあり方、つくり方」監修者。

内容

※下記の内容は予定であり、変更される場合があります。

① 今求められている「カリマネ」とは？

「カリマネ」とはどのような営みかを確認しながら、その出発点である学校教育目標をいかに自校にフィットしたものにするか、事前課題や実践事例から考える。

② 「カリマネ」をどのように推進するか？

参加者が自校の状況や自身の関心・課題を踏まえて、以下の3つの分科会のいずれかを選択。講師や参加者との対話を通して、「カリマネ」への理解や考えを深める。

テーマ1◎「カリマネ」を校内全体に浸透していくために（講師／高校教員）

テーマ2◎生徒の学びを深める「カリキュラムデザイン」（講師／関西大学教育推進部教授・森朋子）

テーマ3◎「育成を目指す資質・能力の明確化」とその「評価」（講師／高校教員）

③ 自校での実践工程表の作成

学んだことを自校で実践していくための具体的な活動計画の作成と、ワークショップ後の活動を支え合う仲間づくりを行う。

※いずれの場面でも、対話を中心とした参加者主体の活動が盛り込まれます。

※参加者には、自校の現状を整理するなどの事前課題への取り組みをお願いする予定です。

2018年3月に高校の次期学習指導要領が公示されて以来、学校現場の課題として関心が高まっているのが「カリキュラム・マネジメント」です。その第一歩であり、最も重要なステップである、資質・能力ベースによる学校教育目標の策定の段階から、「抽象的な表現にとどまっている」「自校ならではの内容になっていない」といった課題を抱えている学校も少なくありません。

そこで、「カリマネとは何か」、その根本に立ち返りながら、先生方同士が対話を通じて課題に向き合う場を企画いたしました。次期学習指導要領が目指す理念は、「社会に開かれた教育課程」です。先生も学校の外に飛び出し、このような場に参加されることは、その理念の実現につながるのではないのでしょうか。そして、ワークショップでの学校の違いを超えた熱い語り合いをその場限りのものにするのではなく、ワークショップ後も参加者の先生方がつながり、引き続き互いの進捗や課題を共有できる仕組みも考えています。「私は、VIEW21ワークショップの修了者です！」と誇っていただけるような場づくりを目指します。多くのご応募・ご参加をお待ちしています。



株式会社
ベネッセコーポレーション
VIEW21 編集部
統括責任者 **柏木 崇**

日時

2019年3月23日(土) 10時30分～17時30分

場所

株式会社ベネッセコーポレーション岡山本社（岡山市北区）

参加対象者

カリキュラム・マネジメントの推進において課題を抱えている高校の先生

募集人数

50名程度（先着順。同一校からの参加は上限2名までとさせていただきます）

参加費

3,000円（税込み。昼食代を含む）

参加申し込みは2019年2月28日(木)まで！

※先着順のため、定員に達した段階で締め切らせていただく場合があります。

ベネッセ教育総合研究所のホームページトップ(*)にあるバナー「VIEW21 PRESENTS ワークショップ 2019」から参加申し込みフォームにアクセスし、必要事項をご入力ください。

*「ベネッセ 研究」で検索→「ベネッセ教育総合研究所」

ワークショップの様子は、2019年度『VIEW21』高校版にてご紹介する予定です。